

# 今年の電子出版トレンド ～技術動向から振り返る 2024

JEPA電子出版アワード2024 パネル討論  
2024年12月18日@Zoom  
株式会社技術評論社 馮富久

まずは1年前のまとめを  
振り返ってみます。

## 2023年まとめと次の展望（技術的側面）

- **EPUB 3.3のリリース**。それに対して**周囲がどう対応していくか**、合わせて、アップデートおよび旧バージョンのメンテナンスの必要性。
- **アクセシビリティ**に関しては、**話題には上がるが、ビジネス判断で遅々**としている（印象）。作り手だけではなく、流通サイドも変わっていかない限り、対応がどんどん難しくなる。
- **生成AIとの向き合い方・付き合い方**は、出版関係者全体が意識して取り組むべき課題。
- （おまけ）  
2023年のX（旧Twitter）騒動を見るに、特定のマーケティングツールへの依存について改めて考えておく必要がある→技術進化に対するアップデートおよびメンテナンス

**ただし、技術がまた状況を変える（解決する）可能性はあります。**

そして。

2023年は生成AIの年。

ト  
マ  
ア  
テ  
ン

### 生成AI

落合 陽一 さん (メディアアーティスト)

地球に「スター・ウォーズ」の知性を持つロボットC-3PO、R2-D2型ドロイドと一緒に働く時代がきて、これっていつからだっけ?と振り返ってみた時、それは間違いなく2023年からなるのだろう。聞いかけるとすぐさま答えてくれる。物語だって、レポートだって、イラストだって、デザインだって作ってくれる。こんな魔法の生成AI「ChatGPT」に飛びついたユーザーは、世界で1億人を超えた。これは絶対に人間でなくちゃという偉業でさえ、今年AI技術で返ってきたインディーズがスクリーンを駆け回り、ハリウッドを震撼させた。しかし、生成AIは、あくまで過去のデータを読み込んで吐き出すしくみ。出力することはしても作り出すのは人間というのは普通だろう。従来「バカリ」は著作権侵害はもとより職を失う恐れさえある動盪すべき行為のはずだった。しかし、学習する元ネタが膨大であればあるほどできる成果物の仕上がりはよい。さて、ChatGPTに2023年新語・流行語大賞の授賞理由を聞いてみた。その答えは「申し訳ありませんが、情報がないのでわかりません。・・・正確な情報を得るには、実際の資料や報道を参照する必要があります」いいぞ、ChatGPT!



「現代用語の基礎知識」選 ユーキャン 新語・流行語大賞2023特設サイトより)

**ChatGPT**  
Get instant answers, find creative inspiration, learn something new.



Adobe Firefly ホーム ギャラリー お気に入り 製品について ヘルプ



**Amazon Q (Preview)**  
Your generative AI-powered assistant designed for work that can be tailored to your business



そして。  
2024年も  
~~2023年は~~生成AIの年。

☀️ Claude

Your ideas,  
amplified

Privacy-first AI that helps you create in confidence.

**ChatGPT**

Get instant answers, find creative inspiration,  
learn something new.



**Amazon Q (Preview)**

Your generative AI-powered assistant designed for work that  
can be tailored to your business

Adobe Firefly ホーム ギャラリー お気に入り 製品について ヘルプ

Discord

今日は Firefly で何を思い描きますか？

Gemini

ということで、2024年も2023年同様に、

- ① EPUB 3.3 (EPUBとEPUB周辺の話題)
- ② EPUBリーダーや制作ツールのアップデート
- ③ 生成AIを取り巻く状況 (出版の観点で)

の構成でお話します。

(なお、専門書出版社としての見解と添えておきます。  
電子コミックの話題はほとんどありません)

# ① EPUB 3.3 (EPUBとEPUB周辺の話題)

**EPUB**

## • EPUB 3.3

W3C標準としては初となるEPUBの仕様が2023年5月に勧告。

<https://www.w3.org/ja/press-releases/2023/epub33-rec/>

この1年は大きな改変はなし。

## • EPUBCheck v5.1.0

<https://github.com/w3c/epubcheck/releases>

こちら昨年リリースのv5.1.0が最新版。

JEPAセミナーでは、

2024年4月24日 各社のEPUBリーダーは、現行CSS仕様やアクセシビリティをどれだけサポートしているのか？  
を実施。

<https://www.jepa.or.jp/sem/20240424/>



2024年は  
EPUB 3.3の普及期。

# EPUB

新バージョンリリースに伴っていつも思うこと。

# 電子出版関係各所の 対応状況は？

電子コンテンツは作って終わりではないですよ。  
(昨年も書きましたが、今年も)

**EPUB**

# ②EPUBリーダーや制作ツールのアップデート

- 毎年恒例Thorium Readerアップデートほか
- 制作ツール関連
- Amazon Kindle、楽天Kobo関連

EPUBリーダー/  
制作ツールほか

# Thorium Reader 3.0 (EDR Lab)

<https://www.edrlab.org/software/thorium-reader>

- Windows 10/11、Linux、macOS対応のEPUBリーダー
- リフロー型/固定型EPUB、オーディオブック、PDFなどに対応。
- v2.2以降、出版情報ダイアログでのアクセシビリティメタデータの表示
- Radium LCP（保護機能）への対応推進
- **DAISY2.02/3対応、などアクセシビリティの観点で最適なEPUBリーダーの1つ**

## 3.0（2024年6月リリース）：

- UIの刷新（書棚表示など）、ダークモード追加、読書画面のテーマ増
- コンテンツステータス付与機能（既読表示）の追加
- 設定、ナビゲーションの標準ダイアログ画面化
- EPUBへの注釈機能の実装
- ローカルデバイスの本文フォント指定が可能に

詳しくはこちらも→ <https://gihyo.jp/article/2024/07/thorium-reader-3>

EPUBリーダー/  
制作ツールほか

Th Thorium Reader Support About English ▾

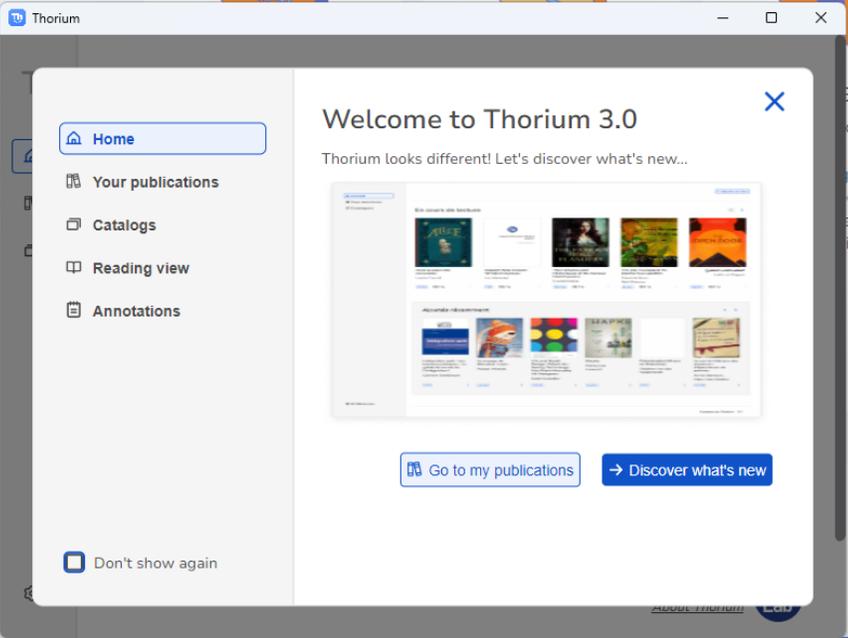
## Thorium 3

The documentation is available in EPUB for various translations are available in the Thorium documentation catalogue.

Once Thorium Reader has been downloaded and launched once, click on the button below the documentation catalogue in Thorium Reader.

[Documentation](#) →

Alternatively you can [read online](#).



祝！エキサイティング・ツール賞

EPUBリーダー／  
制作ツールほか

# Adobe InDesign アップデート

- MathML サポートを使用してドキュメントに数式を追加。
- HTML5 パッケージへの書き出し。
- アクセシビリティの最新情報。

InDesign の新機能

MathML サポートを使用してドキュメントに数式を追加

HTML5 パッケージへの書き出し

アクセシビリティの最新情報

MathML を SVG として追加し、InDesign 内で直接式を編集します。ドキュメントデザインの残りの部分に合わせてフォントサイズとカラーを調整して、式のスタイルをカスタマイズします。

InDesign ドキュメントを HTML5 に書き出し、web サイトまたはサーバー上でホストして、SEO とアクセシビリティを向上させます。テキストを HTML テキストまたは SVG タグとして書き出すことを選択できます。

改善された改ページ、表、図によりアクセシビリティが向上します。支援テクノロジーにより、図キャプションが即座に読み上げられるようになりました。

EPUBリーダー/  
制作ツールほか

# Kindle、Kobo関連 (新デバイス続々)

## Amazon Kindle4機種発売 (2024年10月)

- Kindle Scribe
- Kindle Paperwhite
- Kindle Paperwhite  
シグニチャーエディション
- 新Kindle



## 楽天Kobo、楽天初となるカラー端末 3機種4モデル発売 (2024年4月)

- Kobo Libra Colour (白・黒)
- Kobo Clara Colour
- Kobo Clara BW



EPUBリーダー/  
制作ツールほか

# ③生成AIを取り巻く状況 (出版の観点で)

- AIと著作権
- 情報へのアクセス体験の変化

生成AI

# AIと著作権について (文化庁)

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/aiandcopyright.html>

よくまとまっているので、一度目を通しておくことをおすすめします。

## 令和6年度著作権セミナー「AIと著作権Ⅱ」

「AIと著作権に関する考え方について」の内容を踏まえ、生成AIと著作権の関係に関する懸念の声の更なる解消に向けて、令和5年度著作権セミナーで今後の検討課題とされていた部分を更に深掘りして説明するセミナーを実施しました。(令和6年8月9日)

### ▶ 講演映像



### ▶ 講義資料



AIと著作権の関係については、令和6年3月に文化審議会 著作権分科会 法制度小委員会において、「AIと著作権に関する考え方について」を取りまとめました。  
本ページでは、AIと著作権について、上記の考え方と、その関連文書を紹介します。

## ▶ 著作権法第30条の4等の基本的な考え方について

IoT・ビッグデータ・人工知能(AI)等の技術を活用したイノベーションに関わる著作物の利用に係るニーズのうち、著作物の市場に大きな影響を与えないものについては、平成30年の著作権法改正により、相当程度柔軟性を確保する形で、著作物の利用の円滑化を図るべく、「柔軟な権利制限規定」が整備されました。

以下の資料では、この柔軟な権利制限規定の趣旨・内容・解釈やサービス・行為の取扱い等について、文化庁としての基本的な考え方をお示ししています。

・デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した柔軟な権利制限規定に関する基本的な考え方(著作権法第30条の4、第47条の4及び47条の5関係)(令和元年10月24日)

## ▶ AIと著作権に関する考え方について

生成AIと著作権の関係に関する懸念の解消を求めるニーズに応えるため、生成AIと著作権の関係に関する判例及び裁判例の蓄積がないという現状を踏まえ、生成AIと著作権に関する考え方を整理し、周知すべく、文化審議会 著作権分科会 法制度小委員会において、有識者へのヒアリングやパブリックコメントの募集等を実施しながら議論を行い、「AIと著作権に関する考え方について」を取りまとめました。

・AIと著作権に関する考え方について(令和6年3月15日)

・文化審議会 著作権分科会 法制度小委員会「AIと著作権に関する考え方について」(概要)

・"General Understanding on AI and Copyright in Japan"-Overview-

・文化審議会 著作権分科会 法制度小委員会(令和5年度第1回～第7回)

### ▶ 政策について

▶ 文化行政の基盤

▶ 芸術文化

▶ 文化財

▶ 著作権

▶ 国際文化交流・国際貢献

▶ 国語施策・日本語教育

▶ 宗教法人と宗教行政

▶ 博物館

▶ 各種助成金・支援制度一覧

▶ 文化審議会・懇談会等

# 生成AI



# 情報へのアクセス体験の変化

生成AI

Google

Kindle アップデート ニュース

× | 🗣️ 🌐 🔍

すべて ショッピング ニュース 動画 画像 ウェブ 書籍 : もっと見る ツール

◆ AI による概要

Kindleに関する最近のアップデート情報としては、**2024年10月16日にAmazonが新Kindleシリーズ4機種を発表したことが挙げられます**。新Kindleシリーズは、前モデルと比べてより鮮明でクリアなディスプレイ、最大25%明るいフロントライト、スムーズなページめくりなどが特徴です。

また、Kindleのアップデートに関する一般的な情報としては、次のようなものがあります。

- Kindleの電子書籍リーダーを手動でアップデートするには、ホーム画面のメニューアイコン、設定の順にタップし、再度メニューアイコンをタップして「Kindleをアップデート」をタップします。
- 本の自動更新をオンまたはオフにするには、コンテンツと端末の管理にアクセスして設定を選択し、「本の自動更新」をオンまたはオフにします。
- KindleアプリをAndroid端末にインストールまたはアップデートするには、Androidアプリストアで「Kindle」を検索し、インストールまたはアップデートを選択します。

生成 AI は試験運用中です。



詳細

Amazonが新Kindle（キンドル）シリーズ 4機種を発表。デザインや操作性 ...

2024/10/16 — 新しいKindle（キンドル）：よりスムーズなページめくりや、白黒コントラスト比を強調し、外出先での...

About Amazon Japan

Kindle電子書籍リーダーを手動でアップデートする - Amazon ...

Kindleのホーム画面でメニューアイコン、設定の順にタップします。再度メニューアイコンをタップし、次にKindleを...

Amazon.jp

Kindle無料アプリのAndroid端末へのインストールまたはアップデート

Kindle無料アプリのAndroid端末へのインストールまたは... \* Androidアプリストアで「Kindle...

Amazon.jp

すべて表示

生成AI



EPUB アップデート ニュース



すべて ニュース 動画 画像 ショッピング ウェブ 書籍 : もっと見る ツール

HON.jp  
https://hon.jp › Home › イベントレポート :

新たな仕様とどう向き合うか？ EPUB専門家が語り合った ...

2024/11/19 — 電書協は組織名が電書連に変更され、コミックの製作技術部会の部会長を高見氏が担当し、前任者から電書協ガイドのアップデートを引き継いでいる。

科学技術情報プラットフォーム  
https://jipsti.jst.go.jp › sti\_updates › 2023/06 :

EPUBの最新バージョンEPUB 3.3をW3C

2023/06/05 — W3C (World Wide Web Consortium) ※バージョンEPUB 3.3をW3C勧告にすることを発表した。本バ

PR TIMES  
https://prtimes.jp › キーワード :

「ePUB 3.0」に関するプレスリリース一覧

高機能DTPソフト「EDICOLOR」の新バージョンをリリース～電子書籍フォーマット (ePUB3.0) への対応と価格改定を実施～. キヤノンITソリューションズ株式会社.

HON.jp  
https://hon.jp › Home › 日刊出版ニュースまとめ :

InDesignでEPUB書き出しのアクセシビリティ強化アップデート ...

2024/04/27 — InDesignでEPUB書き出しのアクセシビリティ強化アップデートなど 日刊出版ニュースまとめ 2024.04.27 ... デジタル・パブリッシングのオープン ...

EPUBだとAIのサジェストは  
(まだ) ない。(2024年12月17日)

生成AI

## Google 検索の AI による概要で、情報をすばやく簡単に見つける

検索結果に表示される AI による概要により、目的の情報をすばやく簡単に見つけることができます。AI による概要では、主な情報と関連リンクが記載された AI 生成のスナップショットが表示されるため、効率的に検索できます。

### 検索結果に AI による概要を表示する

Google 検索では、AI による概要の対象ユーザー、対応言語、対応地域を段階的に拡大しています。Google 検索の検索結果に AI による概要が表示されるのは、生成 AI が特に有用であるとシステムが判断した場合です。たとえば、さまざまな情報源からの情報を迅速に提供できる場合などです。

**重要:** AI による概要は、試験運用中の生成 AI を使用しています。[生成 AI とその限界の詳細](#)

# 生成AI

検索による情報へのアクセスが、AIを介してより必要なものに近づきやすくなっている。

ただし、まだ過渡期（ハルシネーションや情報の鮮度）。

とは言え、大きな括りとしての電子出版（Web）、情報の意味・意義が変わりつつある。

いわゆる電子書籍と生成AIの組み合わせはどうなる？

**生成AI**

## 2024年まとめと次の展望（技術的側面）

- EPUB 3.3は普及期。一方で、制作仕様およびリーダー側の対応が遅れている（と感じる）。来年は出版社や制作者以外の部分、書店（リーダー）や流通でのアップデートに期待。
- Thorium Reader 3.0が出たことでPCでのEPUBリーディング体験は大きく向上した。日本国内でのモバイル（スマホ）端末以外のEPUBリーダーの決定版になりそう。
- 一方で、2025年以降、生成AIの進化により、制作の仕方が大きく変わるかもしれない。  
※マルチモーダルの進化による固定型の文字認識の向上など。
- 生成AIの進化・浸透でデジタル情報との接し方が大きく変わり始めた1年。それは電子書籍・電子雑誌・オーディオブックにも影響があると考えられる。とくに、AIスマホがさらに一般化する来年以降で、影響が大きくなる（はず）。

X : @tomihisa  
mixi2 : @tomihisa  
メール : tomihisa@gihyo.co.jp